

福島県只見町布沢区 平成29年7月18日豪雨災害復旧事業完了

布沢区民感謝の集いで、東京地本に感謝状



6/9 只見町布沢区

平成29年7月18日に襲った豪雨災害は、只見町布沢区に甚大な被害をもたらしました。そのような中で東京地本は、布沢区長の要請を受けて「豪雨災害復旧支援行動」を各支部のご協力で、のべ170名の参加で取り組んできました。

災害から約2年が経ち、この5月末で災害復旧が完了しました。よって、6月9日に『「7・18豪雨災害」復興 区民感謝の集い』が開催され、東京地本が取り組んだ復旧支援行動に対し、布沢区長より感謝状をいただきました。

この集いには、福島県議会・星議員、只見町・菅家町長、只見町議会議長をはじめ町議会議員も来賓として参加しました。星県議会議員は「布沢地区の地域づくり、災害復興の取り組みが福島県のモデル事業となる。県内に広めていきたい」と挨拶されました。

また、当日は豪雨災害で倒壊し、新しく完成した橋梁「春待ち橋」のお披露目と復興記念碑「協働の碑」の除幕式、感謝の祝宴も行われました。

人口減少ならびに高齢化は避けて通ることはできませんが、都市部と農山村地域とのつながりを深める「関係人口づくり」によって、地域の魅力を再発見し、歴史と文化を維持していくことは可能です。今後も「関係人口づくり」の取り組みを全国へ発信し、豊かな町づくりと地方ローカル鉄道の存続をめざし、地域の皆さんとの末永いつながりを深めていきます。



都市部と農山村地域が末永くつながっていく「関係人口づくり」を全国へ発信しよう!